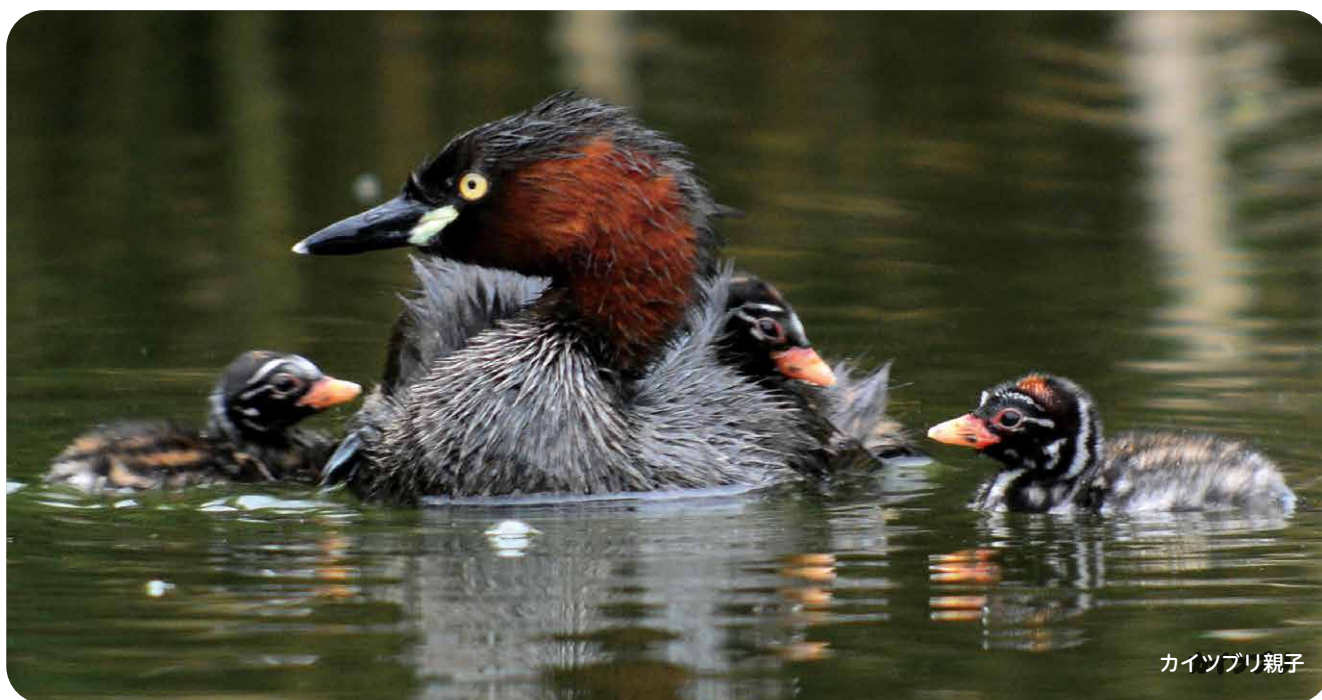


財団だより

第158号

2019.6

多摩川



カイツブリ親子

カイツブリ

写真・文 大野 章(川崎市多摩区在住)



巢上の親子

春から夏にかけては、野鳥達の営巣、子育ての時期です。多摩川でも、良く知られるカルガモ、カワセミ等に加え、セキレイ類、シギ・チドリ類、コアジサシ等の水辺の鳥の繁殖活動が見られます。魚が主食のカイツブリも、緩流部の岸辺近くで営巣します。孵化した子はウリボウ（猪の子）模様の「ぬいぐるみ」のようです。親の羽の中に潜り込み頭だけ見せる姿や、餌をねだって親を追う動作は、実に愛らしく、見ていて楽しいものです。親からの給餌は、小さなエビ等から始まり、大きな魚へと移ります。その頃になると子も自ら潜水し漁の訓練を開始し、短期間に自力で自然界を生き抜く力を付けていきます。



魚を給餌

目次

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| ■ 東急財団発足ご挨拶……………2 | ■ インフォメ……………10 |
| ■ 多摩川散歩……………4 | ■ 財団からのお知らせ……………18 |
| ■ 多摩川に学ぶ……………5 | ■ ヘタレサイクリスト多摩川を下る…20 |
| ■ 連載3 多摩川築堤期成同盟会の奮闘…6 | ■ 読者コーナー……………22 |
| ■ 多摩川改修100年プロジェクト……………8 | ■ 事務局より……………23 |

東急財団は「とうきゅう環境財団」「とうきゅう留学生奨学財団」

ごあいさつ

東急グループは「まちづくり」を中心とするさまざまな事業を通じて、安心して豊かな暮らしの実現に取り組んでおります。このために、収益事業のみならず、社会貢献活動も重要な事業として位置づけ、その中で財団活動も長年にわたり行ってまいりました。

このたび統合しました「とうきゅう環境財団」「とうきゅう留学生奨学財団」「五島記念文化財団」の3つの財団は、それぞれ設立時の社会課題を踏まえ、その解決に主体的に取り組む個人の方や団体への支援事業を中心に行い、地域社会の福祉向上、国際親善、文化芸術の振興に尽力してまいりました。

最初の財団設立から45年が経ち、社会を取り巻く環境は大きく変化しており、これまでの取り組みが一定の成果を出す一方、新たな社会課題も生まれております。

また、NPOなど、社会課題に取り組む主体も多様化し、これまでそれぞれの財団で支援を行ってきた活動対象の枠を超えた、さまざまな取り組みも行われております。

このような社会的背景の変化を踏まえ、ここに3つの財団が統合し「東急財団」として新たにスタートいたしました。それぞれの財団の設立時の想いは大切に引き継ぎながら、社会課題の解決によりいっそう貢献できる事業の展開に取り組み、豊かな社会の実現を目指していく所存でございます。

今後とも、ご支援のほど、何とぞよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人 東急財団
理事長 越村 敏昭

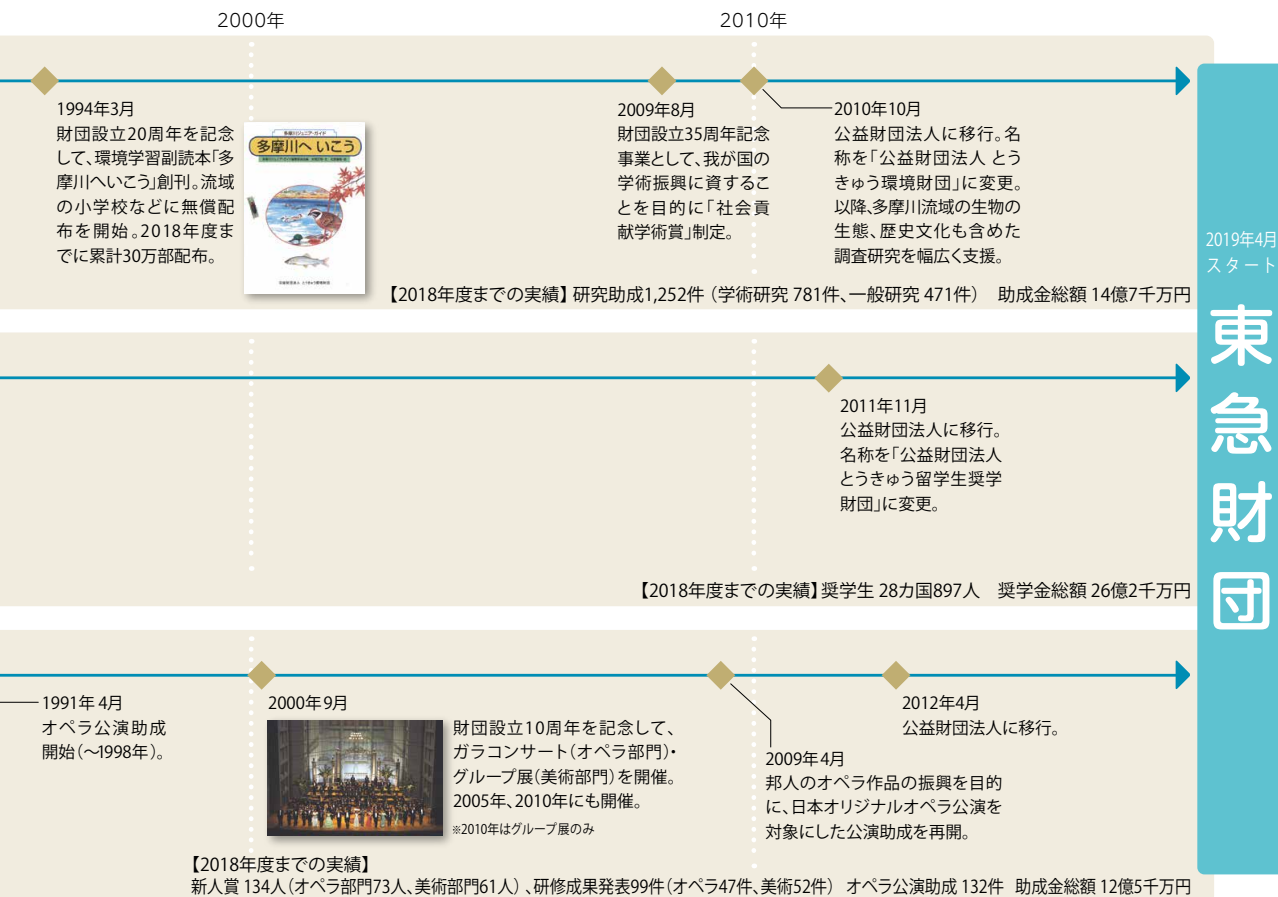


「五島記念文化財団」がひとつとなり、2019年4月、新たにスタートしました。

役員・評議員

五十音順

- 理事長 越村 敏昭 東京急行電鉄（株）相談役
- 常務理事 但馬 英俊 東京急行電鉄（株）執行役員 社長室長
- 理事 桑子 敏雄 東京工業大学 名誉教授
- 小林 真理 東京大学大学院人文社会系研究科 教授
- 佐藤 俊樹 東京大学大学院総合文化研究科 教授
- 高橋 陽子 (公社) 日本フィランソロピー協会 理事長
- 板東久美子 日本司法支援センター 理事長
- 涌井 史郎 東京都市大学 特別教授
- 監事 島本 武彦 東京急行電鉄（株）常勤監査役
- 長岡 美奈 長岡公認会計士・税理士事務所 代表
- 評議員 大隈 郁仁 東急不動産ホールディングス（株）代表取締役社長
- 畔柳 信雄 (株) 三菱 UFJ 銀行 特別顧問
- 鈴木 賢一 (福) NHK 厚生文化事業団 理事長
- 富田 哲郎 東日本旅客鉄道（株）取締役会長
- 巴 政雄 東京急行電鉄（株）代表取締役副社長執行役員
- 野本 弘文 東京急行電鉄（株）代表取締役会長
- 渡邊光一郎 第一生命保険（株）代表取締役会長



多摩川散歩

多摩川源流大学から



多摩川源流大学事務局
NPO法人多摩源流こすげ事務局
東京農業大学非常勤講師

石坂真悟

季節は廻る—変わらない風景と変わる村—

今年3月に協力隊として移住し卒業後も1年間NPOのスタッフとして働いたメンバーが帰郷しました。そして4月から、上野原にある帝京科学大学大学院を卒業し、『生き物や自然を活かした体験プログラムで地域活性化したい』と新メンバーとして盆子原君が加わってくれました。

小菅村役場でも7名の新採用職員が入り、新体制でスタートしています。源流親子留学でも私の知る範囲で、2家族が新しく小菅村で生活を始めたようです。

私事では、今年から、移住当初から入団していた消防団で、地区の消防体制・安全確認等を行う役職を受けることとなりました。今までは一団員として関わっていたのが、これからは指示を出す側として、より地域住民の安全を考える立場となり、身の引き締まる思いです。

移住以来、様々な形で小菅村と関わって参りましたが、立場や役職が変われば見方や新しい発見があるとは思ってはいいたものの、再び毎日が驚きと発見の繰り返して、気持ちは移住初年度に戻ったようです。

今年度から皆様の中でも職場が変わり、身の回りの変化があった方もいらっしゃるかと思います。

これからも新しい角度や立場から見た小菅村や源流の町村をお伝えし、少しでも皆さんにとって身近な多摩川源流域となるよう、ご紹介していきたいと思ひます。

まだまだ、拙い文章ではありますが、今後もよろしくお願ひいたします。

4月中旬 新緑が映える多摩川源流より

小菅村出張イベント情報

○第47回 狛江市環境月間 こまエコまつりに「ヤマメ焼き」を出店します。

6月2日(日)に狛江市役所前市民ひろばで開催される「こまエコまつり」に「ヤマメ焼き」を出店します。多摩川で育ったヤマメを食べながら、これからも綺麗な多摩川を守っていくことを皆さんと一緒に心をつなぐできればと思います。★当日開催時間 10時～15時



○狛江古代カップ多摩川いかだレース出走予定

小菅村の友好都市の狛江市で7月21日(日)に開催される「狛江古代カップ多摩川いかだレース」に、今年も出廷予定です。毎年、多くの皆さまに応援頂きながら、優秀な(?)成績を納めています。今年の小菅号へのご声援、是非ともよろしくお願ひいたします。

★出場チーム名 多摩川源流1・2号(予定)

NPOこすげイベント情報

○7月～8月多摩川源流体験

多摩川源流の水って、どんな色をしているか知っていますか? 毎年恒例の多摩川の源流を体いっぱい体験する「多摩川源流体験」を開催します。

今年も緑あふれる大自然と、透き通った源流がみなさまをお待ちしております。

体験できる日程等は、NPOこすげホームページやメールマガジンの多摩川源流体験ページをご覧ください。

各種体験の募集概要・日程についてはNPOこすげの体験イベントのページ、メールマガジンをご覧ください。

9月以降は源流を胴長を歩くツアーも行っておりますので、「源流体験ほどハードな体験はできない、少し源流に行ってみよう」と思っている方は、ぜひこちらへの参加をお待ちしております。



○「小菅村のイマを発信中」

NPOこすげのメールマガジンのご案内

当法人では、小菅村の旬の情報をいち早く皆様にお知らせするために、メールマガジンを毎月20日にお届けしております。私たちの行っている体験プログラムの日程や、小菅の湯でのイベント情報、都内への出店情報など、実はここではお知らせできていない情報が満載なのです。まだ、登録してない方はぜひこの機会にご登録よろしくお願ひいたします。

もっと身近に多摩川源流小菅村を!

NPOこすげメールマガジン

こすげむらの情報がまるわかり!
ダイレクトに村の最新情報お伝えします!

<p>NPO</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラム情報 ・イベント情報 ・村の活動ブログ ・村での活動動画 	<p>道の駅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物産館新商品情報 ・源流レストラン情報 ・温泉イベント情報 ・フェリスアドベンチャー情報 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内季節のみどころ ・村内・出張イベント ・村内施設情報イベント ・おすすめスポットetc..
---	--	---

メールマガジンのご登録は下記の登録フォームまで。

info@npokosuge.jp

※本文に「お名前、メールマガジン登録希望」と記入しお送り下さい。

多摩川に学ぶ

源流の森を元気にする取り組み



NPO 法人 砧・多摩川あそび村

理事長 上原 幸子

多摩川流域セミナーの経験から

平成 18 年に開催された第 24 回多摩川流域セミナーで、小菅村の多摩川源流大学や川崎漁協の方などと一緒に、世田谷水辺の楽校運営協議会として遊び場活動の話題提供をさせて頂く機会をいただきました。その際に会場である二ヶ領せせらぎ館 2 階会議室壁面に、腰板として多摩川源流のヒノキを配した改装祝いの式典があり、ヒノキ香る会場に 100 名を超える人が集いました。小菅村の小学生による銘板の贈呈もあり、このような形での源流の森と川をつなげる取り組みに感銘を受けました。

多摩川のために源流の森の間伐材を活用する

私たちが世田谷区の委託事業として週 4 日開園している遊び場には、ベンチ、ツリーシェルター、ツリーハウス、井戸があります。せたがや水辺の楽校原っぱの一角を世田谷区が占用し、区の指示のもとに増水時の工作物撤去や草刈りなど日常の管理とメンテナンスを、参加者も含め地域で協力して行っています。これらの工作物は、世田谷まちづくりファンド「まちを元気にする拠点作り」助成により平成 24 年に尾鷲のヒノキ間伐材で作ったものですが、平成 29 年の台風被害と経年により劣化が進んでいました。

そんな中、地域の緑化活動をとおしてまちづくり・コミュニティづくりを応援する東急電鉄『みどりんく』アクションの助成により、多摩川源流のヒノキ間伐材の購入が叶いました。第 6 回『みどりんく』カンファレンスでは、玉切りにしたヒノキ丸太の樹皮剥ぎ体験ワークショップの様子と、NPO 法人多摩源流こすげの石坂さんの「源流の間伐材活用が森を元気に多摩川の水をきれいにする」という解説映像でプレゼンしました。



ヒノキ丸太の搬入



樹皮を剥いで、きれいな丸太に

多摩川源流小菅村・木材調達ツアー

親子参加型で行うベンチ修理は約 1 年がかりになりましたが、NPO 法人多摩源流こすげ、小菅村林業組合の方々のご好意で、購入した木材を作業日程に合わせて預かってもらうことができました。12 月に軽トラックで親子 13 名が小菅村に木材を引き取りに行き、源流の森を体感できたことは、子どもたちの記憶に強く残ることと思います。



多摩川源流小菅村木材調達ツアー

ベンチの木材加工と施工でも、国産材を生かすコンセプトをもった森遊クラブや一般社団法人街の木ものづくりネットワークの皆さんには、大変お世話になりました。この活動が発端ですばらしい出会いを生み、多くのご協力のもとに自らの手で地域資源づくりをする貴重な体験が実現したことに心から感謝いたします。源流に思いをはせる取り組みが、流域で広がることを念じています。



完成したヒノキベンチ

子どもたちとベンチづくり



多摩川改修 100 年

3. 多摩川築堤期成同盟會の奮闘

国土交通省国土技術政策総合研究所
主任指導官、博士(工学) 和田 一範

アミガサ事件(大正3年(1914年)9月16日)において、石原神奈川県知事と会談をした橘樹郡の代表者10名は、早速、多摩川改修問題の解決に向けて、目覚ましい運動展開を進めてゆきます。

3日後の9月19日、橘樹郡11ヶ町村の代表が川崎町の橘樹郡役所に集まり、9月29日に多摩川築堤期成同盟會が結成。10月29日にはキーパーソンの内務大臣に宛てて陳情書が提出されます。

しかしその後の同盟会の活動ぶりは、これまでよくわかっていませんでした。そのためアミガサ事件のあとの顛末は、翌年9月に、石原知事の後任として有吉忠一知事が赴任するまでの約1年間の動きは、ほとんど具体的な話が残されていないまま、就任早々の有吉知事が、河川堤防としての認可が降りないことにしびれを切らした形で、強引に、道路改良としての盛土工事に踏み切ってしまう展開に、話が飛んでしまっていました。

この1年間の空白を明確にする資料が、神奈川県立公文書館に飯田家文書として寄託されています。飯田家は、武蔵野国橘樹郡北綱島村(現横浜市港北区綱島台)の旧家で、アミガサ事件当時の当主は飯田助太夫氏です。橘樹郡農會長の要職にあって県政の重鎮として役割を果たしていました。



飯田家住宅(横浜市指定有形文化財(建造物)、横浜市港北区綱島台)、右は筆者

多摩川築堤期成同盟會では、椎橋伸助、吉沢忠兵衛、中村瀬左衛門の3名の県会議員とともに顧問の立場にあって、10月29日の内務省への陳情をはじめ主体的な活動を行っています。

この時以降、翌年1月までの約4ヶ月間にわたる期成同盟会の活動をまとめたものが「多摩川築堤期成同盟會報告書」として残されています。

アミガサ事件の3日後、関係町村長および有志による会合からはじまり、翌大正4年(1915年)1月12日までの活動経緯を、日を追って37件、すなわち37日分を詳細に書き記してあります。この間、文字通り三日にあげず、地元の関係者がこの問題で走り回ってきた様子がよくわかります。

多摩川築堤期成同盟會は、結成以降、概ね3つの取り組みを進めることで動きだします。

1点は、神奈川県側の堤防建設にあたって不可欠である内務大臣の認可を得るため、直接内務省への働きかけを行うこと。

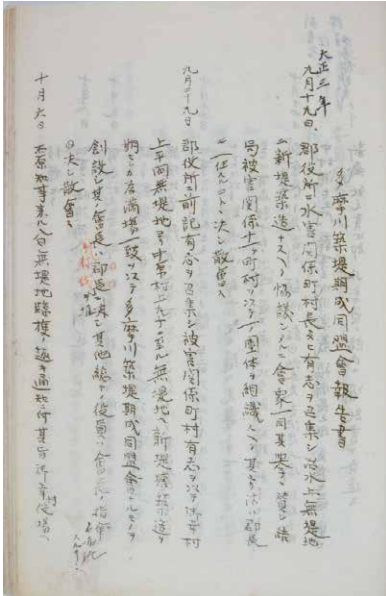
2点は、内務省が認可を出すための基本情報として、対岸東京府側の堤防建設の経緯を調べ、そもそも神奈川県、東京府ともに無堤であったことを明確にすること。

3点は、でき得れば、内務省が認可の前に東京府への意見照会をするのにあたって、東京府側がやむなしとの判断をするため、対岸調布村、矢口村の有力者の了解を得ること。

まずは早速、1点目と2点目の取り組みが動き出します。

10月20日、同盟会渡辺、諏訪部委員、秋元幹事は、対岸の矢口村下丸子へ出向き、堤防築堤の沿革を調査。その結果、東京府側の多くの区域がそもそも無堤で、明治8年から12年までの工事で堤防が作られたことを突き止めました。

10月29日、小泉、井上代議士、同盟会飯田顧



多摩川築堤期成同盟會報告書、全23頁、随所に飯田助太夫氏の書き込みがある

問、小島副会長、秋元幹事は、内務省にて下岡次官に面会。多摩川沿岸新堤塘築造陳情書を手渡し、事情を説明しました。次官は「追って調査の上、公平な処置をとります」との回答で、一同は喜んで退室しています。

10月30日、同盟会顧問以下5名、石原知事に内務省への陳情結果を報告。石原知事は

「県としての仕事はすでに手は打ったので、本省の認可を待つだけだ」と発言しました。

12月4日、小泉、井上代議士、同盟会幹事5名は、内務省次官官邸を訪問します。

次官 「この問題は東京府が反対するので難しい。地元住民同士でなんとか交渉の余地はないか」

幹事 「神奈川県側の惨状は見ていて同情している。去年は、村長はじめ同情を寄せてくれた」

井上代議士 「どの河川も必要に迫られて築堤をしてきたものなので、断固たる処置をしてほしい」

小泉代議士 「東京府と交渉しても、円満な解決は難しい。内務省にて一刀両断の策を講じてほしい」

次官 「よく調査して処理する」

一連のやり取りのあと、5名の幹事はそのまま県庁に出向き、内川内務部長に報告をします。

内務部長 「今月14日過ぎに東京府と交渉する。結果によっては、ほかの適当な方法を講ずる」

との弁で、この日をもってこの問題は、内務省および神奈川県庁に、明確なボールが渡りました。

一方で、地元同士の交渉でなんとか交渉できないか、という次官の言葉に、同盟会のメンバーは3点目の取り組み、すなわち対岸調布村、矢口村

の有力者の了解を得るべく、行動をとります。

12月11日、同盟会委員15名は、調布村矢口村の各村会議員27名宅を歴訪し、無堤地の事情を説明します。このローラー作戦によって、ほぼ全員から同情を得た、と認識した幹事7名は、

12月12日、県庁で石原知事に各村会議員歴訪の状況を報告。知事は

「公式の交渉でも応諾するのかどうかだが、とにかく県としては相当の手続きをしよう」

さらに、年も押し迫った12月28日、秋元幹事は内務部長より26日の東京府知事との交渉の結果を聞き出します。東京府は、

「個人としては同情に堪えないが、職務上は同意できない。多摩川の直轄改修を二期から一期に繰り上げる運動をして、うまくゆけば神奈川県に求め

に応ずるがいかがか」

直轄改修がはじまれば、無堤地区の盛土工事は不要になるので、この期に及んでの言葉としてはかなり冷たいものです。内務部長は、

「結局うまくいかなかったが、これは予期していたことなので、この上は内務省に十分はたらきかけてゆこう」

ついに神奈川県も、東京府との交渉をあきらめ、内務省の英断を求める路線となりました。

明けて大正4年(1915年)1月8日、同盟会幹事5名は、内務省を訪問、土木局長と面会、

「本件は重大な案件なので、本省技師が上下流の被害を調査し裁断をするべきだが、出張して一人もいないので帰省し次第着手する」との弁でした。

多摩川築堤期成同盟会の活動は、この時点において記録がなくなります。

どうも最後の、県内務部長と内務省土木局長の言葉を見ると、内務省の調査を待って、内務省が東京府側の反対があっても、高さを抑えるなどの一定の条件を付して、無堤地区への築堤を認める路線が、強く残っているように思えますが・・・

あろうことか、結束固く走り回ってきた多摩川築堤期成同盟会は、分裂の方向に走り出していってしまうのです。

本稿に記載された多摩川築堤期成同盟會報告書は、著者和田一範氏が神奈川県立公文書館の飯田家文書から見出して、はじめて一般に紹介したものです。興味のある方は、和田一範：多摩川近代改修の夜明け前—多摩川築堤期成同盟會の奮闘—、pp.1-52、2019年4月、水利科学 No.366 (第63巻第1号) の詳報をご参照ください

多摩川改修100年プロジェクト



【2018年度】

多摩川改修100年プロジェクトを実施しました

1914年（大正3年）御幸村（現：川崎市）と周辺の村民たち500余名が、明治40年、43年と度重なる洪水被害に耐えかね、アミガサを着用して神奈川県庁に押し寄せ、多摩川の早期築堤を訴えるアミガサ事件が起こりました。この事件を契機に、1918年（大正7年）国による多摩川改修事業が始まり、2018年（平成30年）で100年の節目を迎えました。

そこで、あらためて多摩川の治水の歴史を振り返り、これからもっと多摩川を知っていただくために、多摩川流域の自治体のご協力を得ながら、より良い多摩川を目指すため、「多摩川改修100年プロジェクト」として、各種イベントを開催しました。

多摩川改修100年プロジェクト

▶平成30年5月14日（月）

『多摩川改修100年プロジェクト発足式典』開催

▶平成30年7月23日（月）

『多摩川改修100年パネルリレー出発式』開催

▶平成30年7月23日（月）～平成31年2月21日（木）

『多摩川流域市区町村によるパネルリレー』実施

▶平成30年9月～平成31年1月（計3回）

『エクスカーションツアー』実施

【第1弾】9月16日：アミガサ事件を巡るツアー

【第2弾】11月10日：砂利鉄道の歴史を辿るツアー

【第3弾】1月19日：多摩川河口域を巡る船上ツアー

▶平成31年3月2日（土）

多摩川改修100年記念『多摩川を歌う』開催



多摩川改修100年ロゴ

ももかわ たま
百川多摩

多摩川改修100年
イメージ
キャラクター



多摩川改修100年プロジェクト



多摩川改修100年記念『多摩川を歌う』

【日時】平成31年3月2日（土）13:00-16:00

【会場】川崎市総合福祉センターエポックなかはら

“多摩川の未来を担う子ども達へのメッセージ”をテーマとしたパネルディスカッションと“多摩川”という歌詞が入った校歌などを沿川小学校の皆さんに歌っていただく合唱コンクールを開催しました。ゲストに声優・歌手の本名陽子さんをお迎えしました。



【パネルディスカッション登壇者】

〈コーディネーター〉

東京都市大学 末政教授

〈パネリスト〉

川崎市 藤倉副市長

東京大学 古米教授

多摩川流域懇談会運営委員会 神谷委員長

声優・歌手 本名陽子氏

京浜河川事務所 澁谷事務所長

【合唱コンクール参加校】

富士見台小学校（川崎市）

住吉小学校（府中市）

百合丘小学校（川崎市）

東菅小学校（川崎市）

各イベントの詳細につきましては
京浜河川事務所HPをご覧ください

多摩川改修100年
京浜河川事務所HP



多摩川改修100年プロジェクトにご協力いただき、ありがとうございました。

京浜河川事務所
Facebook



京浜河川事務所ではFacebookを公開しています！

<https://www.facebook.com/keihin.river.mlit/>

京浜河川事務所の取り組みや所管する多摩川、鶴見川、相模川、西湘海岸、沖ノ鳥島に関する情報を、みなさんに分かりやすく発信していきます。多摩川改修100年の情報も発信します！

国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所



インフォメ／多摩川

多摩川流域他の各種団体等の6月から9月に開催される環境活動に関する
主な行事・イベント情報を紹介いたします。

美しい多摩川フォーラム

- 1. 第47回調布市環境フェアに出展 (6月1日(土):調布市役所)
- 2. 第12回多摩川一斉水質調査実施 (6月2日(日):青梅信用金庫本店)
- 3. 多摩川“水”大学講座開催 (6月21日(金):府中市男女共同参画センター)
- 4. 美しい多摩川フォーラムの森(青梅)下刈りイベント (7月6日(土):青梅市)
- 5. 多摩川っ子(第12号)発行 (7月上旬)
- 6. 多摩川“水”大学講座開催 (7月19日(金):府中市男女共同参画センター)
- 7. 狛江古代カップ第29回多摩川いかだレース参加 (7月21日(日):狛江市)
- 8. 第11回炭焼き体験と水辺の交流会開催 (8月21日(水):青梅市)
- 9. 「多摩の物語」の語り会 (9月6日(金):府中市・バルトホール)
- 10. 多摩川“水”大学講座開催 (9月20日(金):府中市男女共同参画センター)

■お問い合わせ先

美しい多摩川フォーラム事務局(青梅信用金庫 地域貢献部内)

担当:及川/鈴木/木村

TEL 0428-24-5632 FAX 0428-24-4650

E-mail forum@tama-river.jp URL <http://tama-river.jp>

一般財団法人 世田谷トラストまちづくり

■野川せせらぎ教室～世田谷区成城四丁目付近の野川

7月21日(日) 午前9時30分～11時30分 ※要申込

■世田谷トラストまちづくりビジターセンター / 世田谷区成城4-29-1(野川沿い)

「身近な自然と触れ合うミニイベント」 ※要申込:TEL 03-3789-6111

- ・7月7日(日) 午前10時～11時30分
- ・8月4日(日) 午前10時～11時30分
- ・9月8日(日) 午前10時30分～13時30分

「みどりの上映会」毎週土曜日 午前10時～正午、午後1時30分～3時30分 随時・申込不要

■申込・お問い合わせ先

(一財)世田谷トラストまちづくり トラストみどり課

TEL 03-6379-1624 FAX 03-6379-4233

〒156-0043 世田谷区松原6-3-5

財団HP <http://www.setagayatm.or.jp/>

むさしの化石塾 多摩川で化石から学ぶ環境学習です。

■室内教室（主に多摩川産の第四紀層の化石標本群の調べ学習会）

内 容：むさしの化石塾で収集・保存されてきた貴重な岩石・鉱物・化石・火山灰・植物遺体標本などの未整理品の調べ学習を一緒に整理しませんか？

他にも様々な標本群に触れて頂きます。

2時間の限られた時間内ですが、狭い収蔵庫に溢れる収蔵化石標本群から新しい掘り出し物が見つかる可能性があります。

・収蔵庫からの新発見！の例

- 1) 木の枝化石と思って採集した化石を調べたら、＝シカの角化石。
- 2) 植物片化石と思って採集した化石を調べたら、＝カルカロドン椎骨（サメ）。
など採取してから持ち帰った標本群の中に、動物由来の化石が見つかりました。
どうぞお楽しみに。

- 6月開催日時：6月15日（土）14-16時
- 7月開催日時：7月13日（土）14-16時
- 8月開催日時：8月17日（土）14-16時
- 9月開催日時：9月14日（土）14-16時



開催場所・連絡先：

〒208-0003 東京都武蔵村山市中央 3-20-7

むさしの化石塾にて

・参加人数：1回10名様まで（3回とも少人数限定実施）。 ※参加費：1,000円

※要事前予約：（1週間前までに事前参加申込み願います）

※開催日1週間前までメール又は往復はがき郵便にて、参加者の連絡先、氏名、年齢、性別、希望などをご記入の上お申込ください。 ※日程は変わることがあります。

■化石採集会（オプションイベント）

※参加費：2,000円（資料代込み）

・不定期実施 野外イベントはオプションイベントです。

事前情報はむさしの化石塾 twitter にアップします。

https://twitter.com/musasino_fossil をご覧ください。

★むさしの化石塾に興味のある方は、

氏名・住所・年齢・連絡先・質問事項など参加希望等の理由を明記の上、郵送にてお願いします。

■お問い合わせ先

GeoWonder 企画 むさしの化石塾

〒208-0003 東京都武蔵村山市中央 3-20-7 MKJ 事務所

むさしの化石館 042-567-1095 (FAX)

むさしの化石塾 代表 福嶋 徹 090-1769-8020



川崎市域水辺の楽校

川崎市域水辺の楽校開催予定

かわさき水辺の楽校	だいし水辺の楽校	とどろき水辺の楽校
6月16日(日) 水辺の楽校3校合同 干潟観察会 10:00～12:00 大師河原干潟館	6月16日(日) 水辺の楽校3校合同 干潟観察会 10:00～12:00 大師河原干潟館	6月16日(日) 水辺の楽校3校合同 干潟観察会 10:00～12:00 大師河原干潟館
7月15日(祝・月) 多摩川本流での投網打ちと 河童の川流れ 10:00～12:00	7月7日(日) サップで水辺と干潟 10:00～15:00 殿町干潟	7月 第4週目の2日間 夏休み多摩川教室 世界に1枚ハンカチの草木染 10:00～12:00 多摩川二子新地付近河川敷
7月23日(火) 夏休み多摩川教室に参加 10:00～12:00 二ヶ領せせらぎ館	8月3日(土) 8月4日(日) だいし水辺の夏休み自由研究 10:00～15:00 干潟館で学習/干潟観察会	8月4日(日) 多摩川カヌー教室 10:00～12:00 丸子橋下
8月17日(土) 東名高速道路下湧水で 小魚観察網ですくってみよう 10:00～12:00 東名高速道路下	8月31日(土) ハゼ釣り教室 13:00～15:00 干潟館周辺の多摩川	8月25日(日) 水の安全教室 10:00～12:00 丸子橋下
9月8日(日) 二ヶ領用水で魚つかみ (多摩区と合同) 10:00～12:00 二ヶ領せせらぎ館手前	9月14日(土) 9月28日(土) ハゼ釣り教室 13:00～15:00 干潟館周辺の多摩川	9月8日(日) 川の安全教室 10:00～12:00 丸子橋下

お問い合わせ先

NPO 法人 とどろき水辺の楽校

理事・事務局 鈴木 眞智子

〒212-0004 川崎市幸区小向西町三丁目64

電話 044-201-1493 携帯 090-5814-9604

E-MAIL info@todoroki.org <http://www.todoroki.org>

みずとみどり研究会

第 52 回多摩川流域セミナー 「多摩川の河川環境を考える」 開催のお知らせ

日 時：2019年6月15日（土）

9時30分～16時20分ごろ

集 合：JR川崎駅 中央西口ロッカー前 9時20分集合（9時受付開始）

解 散：福生市田園会館（福生市南田園 3-6-1）

場 所：多摩川河川敷、福生市田園会館

定 員：40名（バスでの移動のため定員があります。先着順ですのでご注意ください）

参加費：50円（保険代として）

持ち物：お弁当・飲み物、軍手、雨具、タオル ※汚れてもいい動きやすい服装・歩きやすい靴

詳細は京浜河川事務所ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00123.html>

主 催：多摩川流域懇談会

■お申込み・お問い合わせ先

多摩川流域懇談会事務局 みずとみどり研究会

連絡先 TEL/FAX 042-327-3169

E-mail mizutomidoriken@ybb.ne.jp

アミガサ事件 100 年の会

■毎年祭 セミナー & 懇親会

日 時：令和元年9月7日（土）午後2時～

会 場：上平間第三町会会館

神奈川県川崎市中原区上平間 1700-21

■出張公演

テーマ「多摩川の水害と築堤運動」

日 時：令和元年9月21日（土）午後2時～午後4時

会 場：幸市民館日吉分館

神奈川県川崎市幸区南加瀬 1-7-17

主 催：日吉郷土史会

■お問い合わせ先

アミガサ事件 100 年の会

織戸美紀世

TEL 080-9572-7479

FAX 044-511-1812



アミガサ事件 100 年の会

森林総合研究所 多摩森林科学園**■森林講座**

講座開催日	講座タイトル
6月14日(金曜日)	地形から高尾の山の成り立ちを考える
7月19日(金曜日)	殺して活かす、ニホンジカ - 捕獲個体から得られるアレコレ -
9月13日(金曜日)	火に負けない木づかい

会 場：多摩森林科学園 森の科学館

時 間：各講座とも 13時15分～15時

受講料：無料（ただし、入園料として大人300円、子供50円必要となります。）

お申込：お申込の受付は各講座開催日の前月の1日からいたします。

（例）5月9日の森林講座の受付は、4月1日到着分から

受付は先着順で定員に達したら締切となります。定員に達しない時でも講座開催日の1週間前が締切となります。応募受付の回答は、先着順で順次お知らせします。

往復はがき、または電子メール shinrinkouza@ffpri.affrc.go.jp で承ります。

ご希望の講座名・郵便番号・住所・氏名・電話番号・参加希望者数をご記入の上、お申込ください。

なお、それぞれのお申込1通に対し、1講座3名までの受付とさせていただきます。

※ご提供いただいた個人情報は、森林講座の連絡にのみ使用させていただきます。

■お問い合わせ先

多摩森林科学園

〒193-0843 東京都八王子市廿里町 1833-81

TEL:042-661-1121

Email:shinrinkouza@ffpri.affrc.go.jp

NPO 法人 砧・多摩川あそび村

■ 「きぬたまあそび村」

「自分の責任で自由に遊ぶ」多摩川の自然体験遊び場です。世田谷区の委託を受けて運営し、プレーワーカーと呼ばれるスタッフが常駐しています。

日 時：毎週 4 日 月・水・金・土 10 時 30 分～ 17 時 ※夏休み期間は除く

場 所：多摩川河川敷二子緑地せたがや水辺の楽校はらっぱ

アクセス：東急田園都市線・大井町線「二子玉川駅」徒歩 20 分

東急バス 砧本村行き バス停：都市大グラウンド前下車 1 分

成城学園前駅行き バス停：砧南中学校前下車 4 分

★イベント案内

- ・きぬたまフェス 6 月 22 日（土）

プレーワーカーと子どもたちで作り上げるイベントです。

時間と場所：「きぬたまあそび村」の活動内で行います。

- ・ウォータースライダー 7 月 20 日（土）

13:00～15:00

場所：多摩川河川敷駒沢大学玉川校舎前の土手

- ・川あそび（川流れ体験、ガサガサなど）

講師：多摩川博士・えのきん 参加費：無料

7月

15 日（月）、27 日（土）、29 日（月）、
31 日（水）

8月

3 日（土）、5 日（月）、7 日（水）、
10 日（土）、21 日（水）、24 日（土）、
26 日（月）、28 日（水）、30 日（金）、
31 日（土）

9月

荒天振替予備日 7 日（土）

時間と場所、服装など、詳細はブログなどに UP します。下記にてご確認下さい。

■お問い合わせ先

NPO 法人 砧・多摩川あそび村

〒157-0077 世田谷区鎌田 1-19-1-101 きぬたまの家

TEL 03-6447-9931

MAIL info@kinutama.com

HP <https://kinutama.com/>

ブログ <http://asobimura.exblog.jp/>



ウォータースライダー



川あそび



きぬたまあそび村

NPO 法人多摩川エコミュージアム

■第16回 多摩川夕涼みコンサート

(2019 ミズベリング 水辺で乾杯!)

主催：NPO 法人多摩川エコミュージアム

同日開催：天まで届け!かわさき色輪っかつなぎ 2019
13時～ 無料

主催：かわさき色輪っかつなぎ実行委員会

共催：NPO 法人多摩川エコミュージアム

第16回
多摩川夕涼みコンサート
桜井 純恵 ジャズとシャンソンの夕べ

2019年7月7日(日)

開場 17:30
開演 18:30
料金 前売り 1,800円
当日 2,000円
ワンドリンクサービス
(中学生以下無料)

出演: 桜井 純恵
榊山 潤一郎 (KB)
場所: 多摩川・登戸
宿河原堰河川敷

当日は、ブルーのタオル・ハンカチ等をご持参ください
2019 ミズベリング 水辺で乾杯!に参加(午後7時7分)

雨天時: 小雨決行
雷や強風はせせらぎ館まで行います
場 所: JR南武線/小田急線登戸駅
多摩川口下車徒歩8分
JR南武線宿河原駅から徒歩15分
※駐車場はありませんので、
公共交通機関をご利用ください。

主催 NPO法人多摩川エコミュージアム
お問い合わせ セサセらぎ館
受付Tel/Fax 044-900-8386

■河童の川流れ (子どもゆめ基金助成事業)

日 時: 7月15日(祝・月) 10:30～ 13:30～
8月11日(祝・日) 10:30～ 13:30～

場 所: JR 南武線 / 小田急線登戸駅下車徒歩 8 分 ニヶ領せせらぎ館 河川敷

参加条件: 参加費 1,000 円 / 人、(保険・昼食付き)

小学生以上で 12 歳未満のお子様は保護者をご参加下さい。

申 込: 事前申し込み制となっています。詳しくは下記の問い合わせ先へご確認ください。



■第12回 エコ★カップいかだ下り (川崎市都市ブランド推進事業)

日 時: 8月3日(土) 10時～13時 荒天・増水時は中止・予備日なし

場 所: JR 南武線 / 小田急線登戸駅下車徒歩 8 分 ニヶ領せせらぎ館 河川敷

内 容: 参加者が廃材で作ったイカダでレースを行い、レース後解体し分別ゴミ処理。

タイムレースでなく、川を楽しみながら多摩川を約 1km 下ります。

参加条件: 参加費 1,000 円 / 人、こども (小学生以上 18 歳未満) 大人 (18 歳以上)

5 人以内のチームとして参加し、そのうち 1 名は小学生以上 18 歳未満の方の参加をお願いします。

募集期間: 5月10日(金)～6月10日(月)

後 援: 川崎市、国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所



■お問い合わせ先

ニヶ領せせらぎ館 (にかりょうせせらぎかん) TEL 044-900-8386

住所 神奈川県川崎市多摩区宿河原 1-5-1 URL <http://www.seseragikan.com/>

せたがや水辺の楽校

■あそびの日（第1日曜日 10時～12時）

- ・開催日 6月2日・7月7日・8月4日・9月1日：10時集合
- ・集合受付場所：せたがや水辺の楽校原っぱ / 野川ベース（二子玉川駅近く野川）
- ・インタープリター、川の専門家と生き物を捕まえて観察します！

■川あそびの家（第3日曜日 10時～15時）

- ・開催日 6月16日・7月21日・8月18日：10時～15時
 - ・場所：野川ベース（二子玉川駅近く野川）
 - ・川あそびに必要なライフジャケット・手網などをお貸しします。
- あそぶ・つくる・たべる・つながる まち家族化計画展開中！
「みんなの畑」「せたがや水辺の楽校うた計画」なども随時開催しています。



みんなの畑にて



みんなの畑 作業後のごはん



お魚のすみかづくり



2019年度開校式集合写真（撮影 小林直子）

■お問い合わせ先

NPO 法人せたがや水辺デザインネットワーク

Mail info@mizubedesign.org TEL 080-3007-5413（村上）

HP <https://mizubedesign.org>

ブログ <https://semizube.exblog.jp/>

FB <https://www.facebook.com/mizubedesign/>



～～多摩川と崖線の森の街で 一人ひとりが大切にされる毎日を～～

1 新規 学術研究

No.	研究課題	代表研究者	所属	研究期間
1	多摩川流域における水中微細マイクロプラスチック存在調査とシミュレーションモデルを用いた流域内挙動解析	亀田 豊	千葉工業大学 創造工学部 准教授	2年
2	巨大都市を流れる多摩川流域で薬剤耐性遺伝子を伝播しうるプラスミドの同定とその伝播経路の解明	新谷 政己	静岡大学 工学部 准教授	2年
3	多摩川の流域周辺に生息するワカケホンセイインコ (<i>Psittacula krameri manillensis</i>) など、野生化した飼鳥から人に感染する病原体の調査	佐々 悠木子	東京農工大学農学研究院動物生命科学部門 講師	2年
4	多摩川における薬剤耐性遺伝子の動態に及ぼす下水処理水の影響評価	春日 郁朗	東京大学 大学院工学系研究科 都市工学専攻 准教授	2年
5	多摩川流域のドジョウ類の分布と生息環境、及びヒガシシマドジョウの河川内での季節移動と環境利用	吉川 朋子	玉川大学 農学部 生産農学科 教授	2年
6	多摩川中流域の湧水水路網における景観構造の解明と保全・活用方策の提案	矢澤 優理子	千葉大学大学院園芸学研究科環境園芸学専攻 緑地環境学コース風景計画学研究室・博士後期課程1年	1年
7	多摩川上流域に侵入した大型珪藻外来種の生息状況とその対策に関する研究	田中 正明	四日市大学生物学研究所 所長	2年
8	多摩川水系におけるセミの抜け殻を利用した土壤中元素分布の広域調査	大貫 敏彦	東京工業大学 科学技術創成研究院 教授	2年
9	多摩川底質の亜酸化窒素消費ポテンシャルの体系的評価：排水処理施設からの放流水の影響	寺田 昭彦	東京農工大学 大学院工学研究院 教授	2年
10	水の循環と子どもの遊びからみる自然と社会とのつながりとその価値について—多摩川流域の自然環境保全に向けた流域連携の可能性に向けて	土肥 真人	一般財団法人エコロジカル・デモクラシー財団 代表理事	2年
11	多摩川におけるマイクロプラスチック汚染状況と魚類への影響	二瓶 泰雄	東京理科大学 理工学部土木工学科 教授	2年
12	多摩川の遺伝資源：固有の魚類個体群とその生態	吉永 龍起	北里大学 海洋生命科学部 准教授	2年
合 計 (12件)				

2 新規 一般研究

No.	研究課題	代表研究者	所属	研究期間
1	多摩川中流域における魚類(オイカワ)をマーカーとしたマイクロプラスチック汚染調査	伊藤 教行	特定非営利活動法人 R.I.La 主任研究員 理事	1年
2	玉川上水・本水路護岸に作られる「分水口空間」の環境調査—江戸時代に作られた「分水口空間」の知恵をさぐる—	渡部 一二	水縁空間デザイン研究所 所長	1年
3	多摩川鳥類カウント再現	蓮尾 純子	多摩川鳥類カウントグループ 会長	2年
4	プラスチック製産卵誘致容器の活用によるトンボ類の保護・増殖	久保田 繁男	特定非営利活動法人横沢入里山管理 市民協議会 理事長	2年
5	玉川上水・分水網関連遺構 100 選の評価と冊子・展示資料等の作成	辻野 五郎丸	中央大学理工学部都市環境学科谷下 研究室 共同研究員 玉川上水域研究会代表	1年
6	多摩川流域におけるフクロウの生息状況確認調査	板谷 浩男	多摩川流域夜フクロウ調査研究 グループ	1年
合 計 (6件)				

3 継続 学術研究

No.	研究課題	代表研究者	所属	研究期間
1	多摩川における感染力を有した腸管系ウイルスの動態解明	端 昭彦	東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 特任助教	2年
2	多摩川河口域における水生菌類の多様性と有機物分解機能の評価	鏡味 麻衣子	横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授	2年
3	多摩川水系におけるニホンウナギの保全のための資源生態調査	黒木 真理	東京大学大学院 農学生命科学研究科 助教	2年
4	多摩川水系における天然及び人工放射性物質の環境総合評価	岡田 往子	東京都市大学 工学部 原子力研究所 准教授	2年
5	多摩川の微生物生態系モデル構築による下水処理水の影響や季節変動の解析	山村 雅幸	東京工業大学 情報理工学院 教授	2年
6	多摩川源流域における「耕作跡地の二次草原」の生物多様性とその時空間動態	今井 伸夫	東京農業大学 地域環境科学部 森林総合科学科 森林生態学研究室 准教授	2年
7	多摩川流域のアブラナ科アブラナ属の地域在来野菜における遺伝的由来と品種および栽培特性に関わる研究	元木 悟	明治大学農学部 農学科・野菜園芸学研究室 准教授	2年
8	多摩川流域の観光発展と環境教育の役割について 一人々の観光に関わる行動分析と観光政策―	高尾 美鈴	中央大学大学院 経済学研究科 (博士後期課程 1年)	2年
合 計 (8件)				

4 継続 一般研究

No.	研究課題	代表研究者	所属	研究期間
1	多摩川における日本在来河原植物の分布調査	柴田 隆行	多摩川の自然を守る会 (代表)	2年
2	御岳山山域 蘚苔類フロラ調査 ―御岳山の苔の魅力を発掘し、大切な資源として後世に遺すために―	井口 三月	御岳山苔の会 (代表)	2年
合 計 (2件)				
総 合 計 (28件)				

多摩川を下る!

ヘタレサイクリスト

その⑥

さてさて。ワタクシが今おりますのは天空のレストラン。ここ「二子玉川エクセルホテル東急」の最上階は、大都会を悠々と流れる多摩川を見下ろす絶好のロケーション。ここでまずは、たっぷり腹ごしらえであります。なんだか居心地がよくて根っこが生えそうですが、出だしからヘタってばかりもいられません。「さあ、行くぞ!」と気合を入れて立ち上がり、愛車「銀星号」をホテル1階の駐輪場からひっぱり出して、本日の旅、いよいよスタートであります。



おー。今日は少し風がありますな。しかし寒くはありません。南国のリゾートを思わせるような、少し熱気をはらんださわやかな風であります。空はどこまでも高く、ワタクシを誘（いざな）いでおります。愛犬家のメッカ、二子玉川公園を抜けて、今日は、多摩川べりの未舗装の細道を走ってみましょうか。



おー。どこまでも続く一本道! これぞサイクリスト冥利に尽きる、と調子に乗ってスピードを上げていたら、なんとチェーンが外れてしまいました。思いきり脱力であります。。。こんな場所に自転車店は当然無く、やむなくその場で自力で四苦八苦して復旧する羽目に……。なにごと自信過剰は禁物です。ごめんね銀星号。その後は、そろりそろりと、相棒にご機嫌をうかがいながら進みます。



さ、気を取り直して参りましょう。このあたりの河原の広さには、目を見張ります。使いきれないほど広い公園が点在しておりますが、あまり手を加えられていないのが、むしろいい感じです。それでも、走りながら耳を澄ますと、川の両岸から間断なく車の走る音が聞こえてきて、ここがまぎれもない都会の真ん中であることを思い知らされます。お、何だこれは。ときどき現れる謎の遊具がユーモラス。



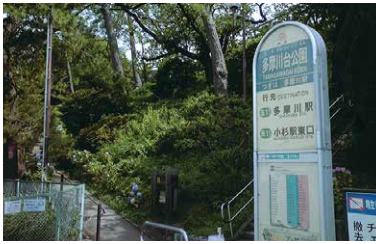
先ほどの「チェーン脱落事件」を教訓に、ここからは河原の小道ではなく、土手に上がって車道を進むことにしましょう。おお。いい眺めです。こんな日に、ここでバスを待って

いるのは、いい気分でしょうなあ。目線の少し上を雲が次々と流れ、時折、飛ぶ鳥の影が足元をかすめて行きます。しばしの間、ただずんで、川風に吹かれてみたりします。(ヘタレサイクリストは休んでばかり)

スタートしてから日に当たり続けだったので、少し暑くなってきました。と、うまい具合に、少し遠くに、涼しそうな森があるではありませんか。というわけで、少しの間、多摩川本流を離れ、丸子川に沿って進みます。左側の台地との境目が、国分寺崖線(がいせん)。そこここに湧き水も湧いてるそうです。



やや進むと、多摩川台公園。ここで丸子川は多摩川に合流します。なんだか見晴らしが良さそうです。ちょっと登ってみましょうか。



坂道の両側は、あじさいの花盛り。

おお。思った通りの眺めです。東急線の4本の鉄橋が多摩川を渡るさまは、なかなかの壮観。しばし我を忘れてひと休み（またですか。）



公園のすぐ足元には、調布堰（ちょうふげき）。かつての「洗剤の泡だらけの多摩川」の写真でおなじみの場所ですが、その面影もどこへやら、今は、透き通った水が静かに流れております。



さて再び多摩川に沿ってペダルを進めます。丸子橋を過ぎると、なぜだかにわかに周囲にはスポーツの機運が高まり、ゴルフ場、サッカー場、野球場などのオンパレード。ハタレサイクリストは防球網の下を、小さくなりながら進みます。



丸子橋の一つ下流、ガス橋に来ました。昭和初期に、鶴見の工場で製造されたガスを東京に供給するため、ガス管が敷設されたことが命名の由来。

橋のもとにある斜面は、今から100年前に、当時の神奈川県知事が設置した「有吉堤」の名残だそうです。



「海から10K」と言ってますが、ワタクシに言わせれば「海まで10K」であります。・・・ついにここまで来ました！でも、ここから先が長い！

やがて現れる多摩川大橋。その名に違わず、威風堂々たる姿と機能美を兼ね備えております。

橋の中央からのワンショット。多摩川の川幅の広さをひしひしと感ずります。

はるか雲間の山の中の源流からここまで、長い長い道のりでした。



橋のもとにある「多摩川交流センター」は、河原にあるゴルフコースのクラブハウスを兼ねています。今日の風は、かなりアゲント。がんばってね〜と声をかけながら、



ワタクシは缶ビール（ノンアルコールですが）で一杯。今日の旅はここまで。心なしか、潮の香りが漂ってきました。海は、もうすぐのようです。



次回は多摩川大橋から、さらに下流を目指します！

(取材 2018年6月)

読者コーナー



第15回多摩川桜のコンサートに行ってきました！

平成31年4月6日（土）恒例の多摩川桜のコンサートが二ヶ領せせらぎ館前の広場で開催されました！

好天に恵まれ、満開の桜の下で多くの人が集まり、久しぶりに多摩川の河川敷一帯が賑わいました！

午前11時に始まったコンサートは、午後2時まで途切れなく続き、演奏を楽しみながら、併設された露店で飲食し、こだわりの食材の買い物を楽しみました！

多摩川の満開の桜は、みごとでしたよ！

原 三千雄



読者コーナーでは、「財団だより多摩川」へのご意見・又は流域のイベントの紹介、多摩川でみかけたものなど楽しいおたよりや情報をお待ちしております。

公益財団法人 東急財団 環境部宛に MAIL でお送りください。

▶メール宛先

env@tkk.tokyu.co.jp

事務局より

まだ朝晩は冷え込みますが、木々の緑が日に日に濃くなっていくさまに、夏が近づいているのを感じます。本誌が皆さんのお手元に届く頃は、きっと夏真っ盛りになっていることでしょう。

これからは、川が一年でいちばんいきいきと輝く季節。おかげさまで財団も合併し、「東急財団」として船出しました。輝く^{みなも}水面に将来の姿を重ねつつ、さらに世のため人のためとなれるよう、精進したいと思います。自分も多摩川のように輝く存在でありたい、なんて言ったら、格好つけすぎでしょうか…？(笑) (Z)



財団が合併し「東急財団」としてスタートしました。

新元号も令和に変わり早2カ月。2019年の春は、本当に慌ただしかったです。

これからも「東急財団」をよろしくお願いいたします。

川のシーズン本番を迎え楽しいイベントも沢山！読者コーナーのおたよりもお待ちしています。

インフォメに掲載できなかった新着情報は、東急財団環境部 FACEBOOK

「We love Tamagawa 公益財団法人東急財団」でご紹介をまいりますので併せて

よろしくお願いいたします。

FACEBOOK : <https://www.facebook.com/foundation.tokyu.co.jp/> (M)

- 発行日 2019年6月1日
- 編集兼発行 公益財団法人 東急財団 環境部
〒150-0002 渋谷区渋谷1-16-14 (渋谷地下鉄ビル5F)
TEL 03-3400-9142 FAX 03-3400-9141
公式ウェブサイト <https://foundation.tokyu.co.jp>

公益財団法人
東急財団

2019年4月1日 新たにスタートしました



公益財団法人
東急財団

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-16-14
渋谷地下鉄ビル5階
TEL: 03-3400-9142 FAX: 03-3400-9141
URL <https://foundation.tokyu.co.jp>